

厚生労働省統計改革ビジョン 2019（仮称）の策定に向けた

提言のとりまとめを受けて

- 「厚生労働省統計改革ビジョン 2019（仮称）有識者懇談会」は、厚生労働省が、真に統計ユーザーや国民の皆様の視点に立った公的統計を作成できる組織へと生まれ変わり、政府全体の公的統計を牽引する「統計行政のフロントランナー」となることを目指すために設置したものであり、有識者委員の皆様には、短期間で精力的にご議論いただき、今般、提言を取りまとめていただいたことに厚く御礼申し上げます。
  
- 懇談会では、有識者委員の間で、厚生労働省の組織改革に限らない、積極的な意見交換がなされたと聞いている。

厚生労働省としては、本提言や統計委員会等政府全体の見直しの議論等も踏まえながら、可能な限り、提言の内容を取り込む形で、8月中を目途に、厚生労働省の統計改革の羅針盤となる「厚生労働省統計改革ビジョン 2019」を策定することとしたい。
  
- 同ビジョンの策定及びその着実な実施を通じて、一刻も早く、国民の皆様からの信頼を回復できるよう、厚生労働省改革と統計改革を成し遂げてまいりたい。

令和元年 8 月 20 日

厚生労働大臣 根本 匠